

お客様に魅力を感じてもらえる文房具店へ

株式会社オオガケ



代表取締役 大掛 隆氏
柏崎市四谷1-10-30
Tel.22-3604 Fax.24-6651

秋の深まりが感じられる九月下旬、市内四谷の環ビル（自社所有）にあります、株式会社オオガケに伺いました。お忙しい中、満面の笑顔で迎えて頂いた代表取締役の大掛隆さんにお話を聞きました。

大掛さんは昭和四十八年生まれの四十七才。西本町のお生まれで、柏崎小学校・第一中学校・商業高校を経て、平成三年四月から、新潟市の大原簿記専門学校に進学されました。

専門学校卒業後は、山形県天童市にあります和菓子屋さんに就職。簿記専門学校に通っていたと言う事も有り、数字の世界（貨幣単位の円・銭）が学びたく原価計算にシビアな和菓子屋さんで就職されたそうです。

その頃、実家でご両親が経営され

ている文房具店を誰が継ぐのか兄弟で話し合い、次男の隆さんが継ぐことに。平成八年十二月、二十四才の時に帰郷し、当時、西本町で経営されていた文房具店に就職。その後、隆さんの代で「有限会社オオガケ」から「株式会社オオガケ」に変わりました。その後平成二十三年に、今の四谷に移転されたそうです。

ご家族は奥様、高校生の長男、中学生の次男と長女の五人。お子様は陸上やテニスをやっているそうです。

今、会社で取り組んでいる事は？
「お客様に笑顔で帰ってもらえるような、そして当たり前ですが、お客様が喜んでもらえるような接客対応に取り組んでいます。また、時代に即した電子機器を提案することで御用聞きの高めていきたい。」
店内では、メーカーさんが作成した商品紹介のプロモーションビデオを放映しているそうです。

ご趣味はありますか？

「温泉巡りとそば店巡り。田畑仕事もやりますね！後は朝四時に起床し、読書とニュースで情報収集」と話す大掛さん。沢山趣味があつて羨ましいです。

今後の抱負は？

「これからも、いつでも・どこでも・誰にでも・御用聞きと提案型営業に徹し、アナログとデジタルの融合を図り、個人の幸せ・企業の幸せ・社会の幸せに努めたい」

大掛さんは青年会議所に十六年間所属したり、今は柏崎男女共同参画推進市民会議の役員を十八年間されているそうです。

今は休みも少ないですが、魅力あるお店にしていきたいと言う社長の信念が感じられた取材になりました。
（十人衆町・黒取材）

